

第6回子育てにやさしい移動に関する協議会
議事概要

日時：令和3年11月25日（木） 10:00～11:30

場所：中央合同庁舎3号館3階 総合政策局局議室

出席者：別途出席者名簿を参照

○：構成員の発言内容、●：事務局の発言内容

主催者であるバリアフリー政策課真鍋課長の挨拶の後、秋山座長の進行のもと議事が進められ、意見交換が行われた。

<ベビーカー利用の円滑化について>

事務局から、令和2年度及び令和3年度のベビーカー利用円滑化に向けた取組、それを踏まえた今後の取組、ベビーカーマーク認知度調査について報告。

○ベビーカーマーク認知度調査のアンケートについて、日本全国の幅広い年代層で行っているとのことだが、公共交通機関でベビーカーを使用する地域は都市部に集中していると思うのと、年齢が上の方は、車内ではベビーカーを折りたたむという認識がすり込まれているかと思慮する。年代別などに属性を分けて整理いただく等、子育て世代における各問の割合を知りたい。

●手元に細かいデータがないが、後ほど調べた上で回答する。

<子育て応援の取組について>

国土交通関係の各分野における子育て応援の取組について、本協議会の構成員のJR東海、日本民営鉄道協会、日本地下鉄協会、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー連合会、NPO法人びーのびーの、NPO法人せたがや子育てネットから現状について報告。

○先日、ベビーカーを利用したお母さんが電車に乗ってきた際、若い女性の方が席を譲っているのを見て、各事業者の取組が浸透してきているのを感じた。また、西武鉄道でのベビーカーレンタルの取組について、現状の貸し出し数等の実績を公表して頂けるとありがたい。このような子育て応援の取組が広がっていくと、より関心も広がっていくと思うので、引き続き取り組んで頂きたい。

また、日本語が分からない外国の方に対して、分かりやすい表示の仕方等の取組も積極的に入れて頂きたい。

○各団体等の取組報告を聞いて、車両のドアレールの工夫等のハード面の対策や、東

海道新幹線のお子さま連れ専用車両、小田急電鉄の子児IC運賃一律50円、都営バス全路線で二人乗りベビーカーを折りたたまずに乗車可能等のソフト面の対策、タクシー業界の育児支援タクシーや妊婦応援タクシー等、共生社会への流れを大きく踏み出したと感じる。

また、海外のバス車内における車椅子利用者の乗降については、乗車したい方が先に乗車し、次に降車したい方が降車するというルールを実施しているため、それを踏まえ、日本におけるベビーカー利用に関してもルールを作る流れが見えたと感じた。

○海外の鉄道車両のフリースペースでは折りたたみの椅子があり、ベビーカーを利用する方が座れるようになっている一方で、日本の在来線では折りたたみの椅子が設置されていないが、何か理由はあるのか。

また、今後、子供乗せ自転車の取組についても紹介して頂きたい。

○在来線での折りたたみの椅子の設置に関して、幅広く普及されてはいないが、例えば西武鉄道や京都市交通局等では、新車両導入の際、車椅子スペースとは別に簡易な腰掛けがありベビーカーが置ける子育てスペースのような、広いスペースを導入し始めているところもある。今後の新車導入の機会に合わせて、徐々に普及していくと思慮する。

○了解した。

○各団体等の取組報告を聞いて、様々な取組が進んでいるとともに、多様な世代への情報発信が出来ていて良いと思った。

他委員より意見があったが、ベビーカーマーク認知度調査のアンケートに関しては、クロス集計を元に、どういった年代の理解や認知度が低いのかを把握し、ピンポイントで訴えていくのも考えられる。

世論調査について、優先席の問で「優先席以外の座席も譲ろうと思うか」等の設問があっても良いと思う。以前、優先席の対象となる方と話した際、「全座席が埋まっている時に優先席の近くに立っていると、譲って欲しいとアピールをしている様で立ちにくい」との話があり、どこの座席であっても譲り合えるような環境になれば良いと思うので、優先席以外の意識を知りたい。

○外出時に、急な雨に降られた際にレンタルできるレインカバーが駅に置いてあると良い。また、身体障害者用の子ども用車椅子について、ベビーカーに形が似ていることから理解がない方に心ない事を言われてしまったという事例もあるので、ベビーカーの種類等の基礎的な教育をして頂きたい。

○ベビーカーの乗降の順番については議論が出来れば良い。その結果を踏まえ、啓発

活動を行いながらルールの浸透を行う必要がある。今回の報告で鉄道事業者の取組が進んでいるのを知り、子育て団体も一緒に考えて行ければ良いと思った。

○今回報告のあった子育て応援の取組も含め、世の中に知られていない取組もまだあるかと思うので、共生社会に向けた最近の取組として、誰もが読むことが出来るような冊子を出してはどうか。

●検討する。

<その他>

事務局から、令和2年度に実施した公共交通機関利用時の配慮に関する世論調査の報告。また、高齢者障害者等用施設等の適正利用推進キャンペーンの実施について、作成したポスターを駅や車内等に掲出する等の協力を依頼した。

以上。